

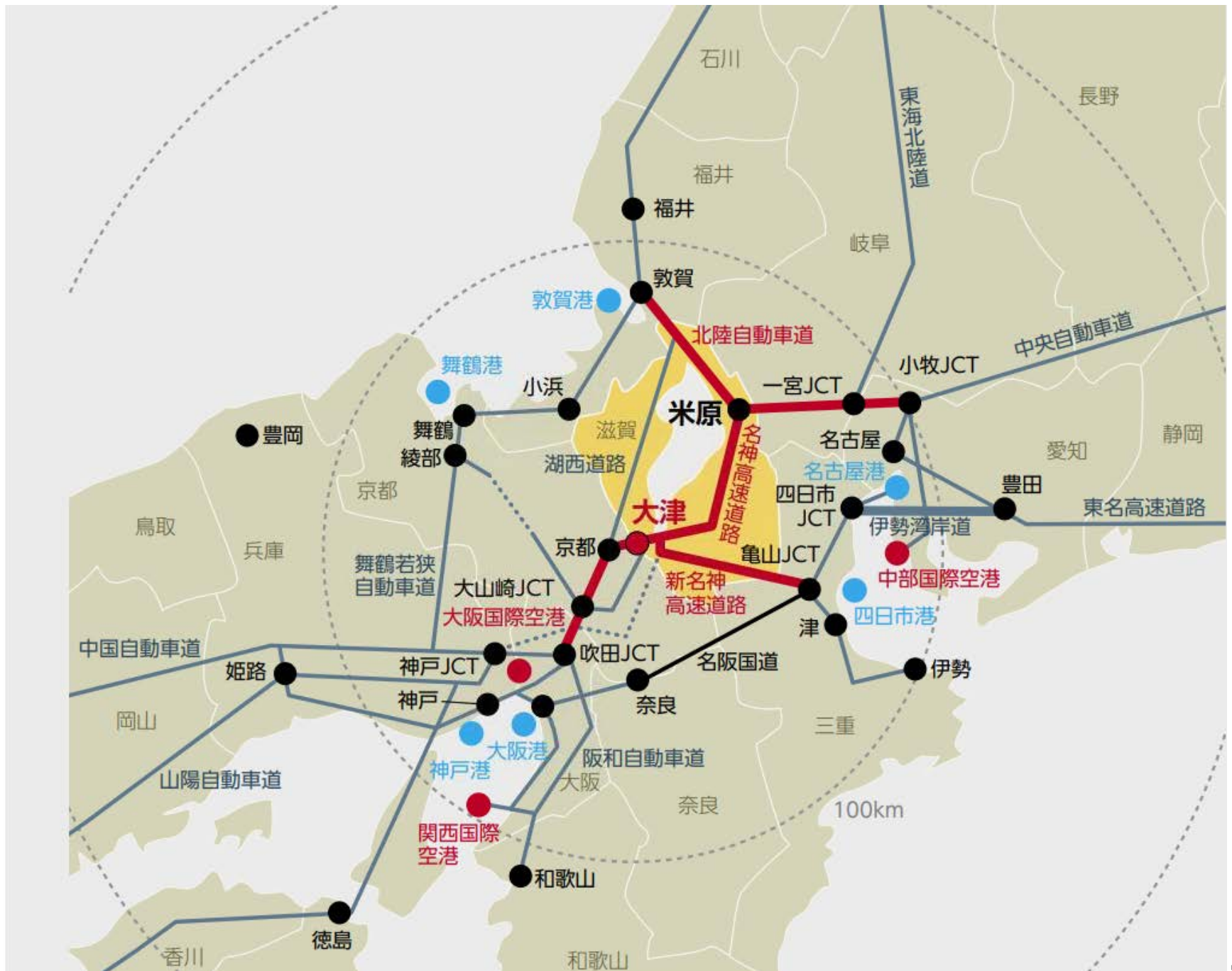
Sustainability Design Company

滋賀銀行のサステナブル経営

～ お金の流れを変える地域金融機関の役割 ～

2019年10月11日
株式会社滋賀銀行
広報室長兼CSR室長
嶋崎 良伸





滋賀銀行の概要



設 立	1933年(昭和8年)10月1日
歴 史	1879年(明治12年) 第百卅三国立銀行設立 1881年(明治14年) 八幡銀行設立 1933年(昭和 8年) 滋賀銀行設立
総 資 産	6兆1,004億円
従 業 員 数	2,006人(出向者除く)
預 金 残 高	4兆9,525億円 (譲渡性預金含む)
貸 出 金 残 高	3兆7,958億円
格 付	A+ (JCR) A+ (R&I) 2019年3月31日現在

滋賀銀行 CSRの歴史



- ‘84年 「社会福祉法人しがぎん福祉基金」設立
- ‘99年 「環境方針」制定
- ‘00年 「ふれあい環境室」設置
「ISO14001」認証取得
- ‘04年 「CSR室」、「CSR委員会」設置
- ‘05年 「しがぎん琵琶湖原則(PLB)」策定
※「環境金融」の推進
- ‘07年 基礎的内部格付手法(FIRB)を金融庁承認
「CSR憲章」と「滋賀銀行の行動規範」制定
- ‘08年 「エコ・ファースト企業」として環境省より認定
- ‘10年 「生物多様性保全方針」制定
- ‘13年 創立80周年
「地域振興室」設置(「地方創生」の支援)
- ‘16年 ポジティブアクション
「プラチナくるみん認定」、「イクボス宣言」
- ’17年 しがぎんSDGs宣言

滋賀銀行の経営理念

行 是 1966年制定

自分にきびしく 人には親切 社会につくす

CSR憲章(経営理念) 2007年制定

地 域 社 会
役 職 員
地 球 環 境

共存共栄



琵琶湖 (Mother Lake Biwa)

- ◆日本最大の淡水湖
- ◆世界有数の古代湖
(約400万年前)
- ◆滋賀県の1/6が琵琶湖
- ◆460本の川が琵琶湖に流入
- ◆1本(瀬田川)から流出。
- ◆京阪神1,450万人の貴重な水源
- ◆61種の固有種
- ◆湿地帯はラムサール条約登録

「環境経営」 ～ 経営に環境を取り込む ～

琵琶湖

生物多様性 / 1450万人の水源

「環境経営」

高い環境意識

琵琶湖「石鹼運動」

「三方よし」

受け継がれる精神

環境経営

滋賀銀行は経営に環境を取り込んだ「**環境経営**」を銀行経営の要諦と位置づけ、省資源・省エネルギー活動に努める「**エコオフィスづくり**」、本業を通じた環境保全への取り組みとして金融に環境を組み込んだ「**環境金融**」ならびに「**環境ボランティア**」活動を展開

エコオフィスづくり

エコスタイル

COOLBIZ

WARMBIZ



リサイクル



ソーラーパネル



環境金融



環境ボランティア



ヨシ刈りボランティア



外来魚駆除・釣りボランティア

「しがぎんSDGs宣言」を表明 (2017.11.22)

地銀初



「しがぎんSDGs宣言」

“しがぎん”は、CSR憲章（経営理念）に掲げる「共存共栄」の精神のもと、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）を私たちの企業行動につなげ、地域の社会的課題解決と経済成長の両立をはかり、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2017.11.22

取締役頭取 高橋 祥二郎

重点項目(ターゲット2030)



地域経済の創造

金融の力を通じて、社会的課題の解決とイノベーションの促進による新たなビジネスモデルを創出するとともに、地域の魅力を育み、人と街が成長する豊かな地域経済を創造します。



地球環境の持続性

「環境経営」を主軸としたCSR経営を追求し、地球温暖化防止や生物多様性保全など、持続可能な社会の実現に努めます。



多様な人材の育成

働き方改革とダイバーシティの推進により、すべての人々にとって生きがい・働きがいのある職場環境をつくり、もって個性と能力が存分に発揮できる持続可能な人材育成に努めます。



以上

従前の平等院阿字池の状態



平成23年8月23日撮影

浄化着手から4ヶ月後の状態



3-1. 個別案件の先行事例① | 水質浄化技術を活用したフグの陸上養殖（滋賀銀行）－概要－

- 陸上養殖へのニーズの高まりを背景に、水質浄化技術を活用したフグの陸上養殖を新規事業として検討。
- 独自技術により排水を行わずに水質を保つことができるため、周辺環境に影響を与えず、コスト削減を実現。

基本情報		
事業者名	ウイルステージ	アクアステージ
事業者業種	不動産 コンサルティング	陸上養殖事業
事業者本社所在地	滋賀県草津市	
事業者にとっての本事業の位置づけ	新規事業	
関係事業者	-	

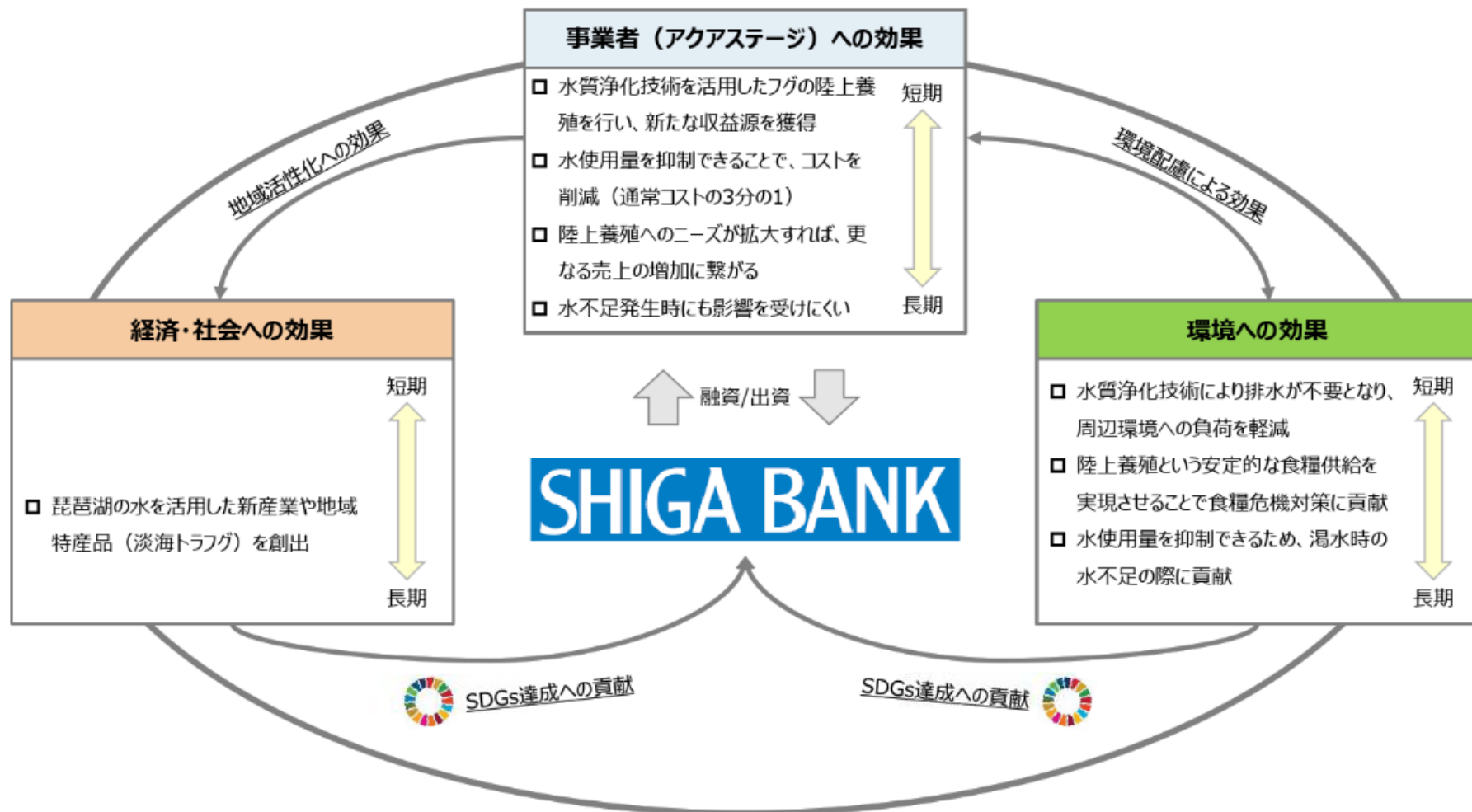
事例の背景	
水質浄化技術の転用	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ウイルステージは鎌倉の円覚寺や京都の平等院鳳凰堂の池の浄化や皇居外苑濠（日比谷濠）の水質浄化事業の実績 ・ 水質浄化技術を活用した新規事業を検討 	
社会的課題起点の新規事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 海洋汚染の問題や、水産資源の保護を背景に陸上養殖へのニーズが拡大すると認識 ・ 滋賀銀行は、新規性があり、SDGs達成に貢献する事業に対して優遇金利で融資を実施するなど、社会的課題起点の事業を支援 	



3 - 1. 個別案件の先行事例① | 水質浄化技術を活用したフグの陸上養殖（滋賀銀行） - 想定される効果 -

滋賀銀行への効果

- ✓ 排水で周辺環境を悪化させることによる事業停止リスクを回避（取引先の事業停止回避）
- ✓ 水使用量を抑制しているため、水道料金の削減効果に加え、水不足の影響を受けにくい（取引先の価値向上）
- ✓ 食糧危機や海洋汚染問題から陸上養殖へのニーズが拡大すれば売上が増加（取引先の価値向上）

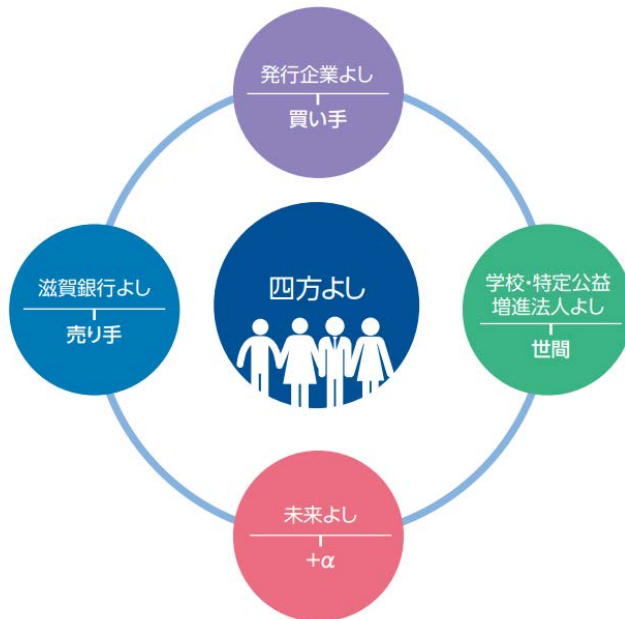


SDGs私募債「つながり」

商品の仕組み



※発行金額の0.2%相当額の物品または活動資金を滋賀銀行が寄贈



【売り手】 滋賀銀行

→ 資金ニーズの発掘

【買い手】 発行企業

→ 地元への社会貢献、優良企業の証明、イメージ向上

【世間】 学校・特定公益増進法人

→ 学びや成長を応援する物品の贈呈・社会的課題解決に向けた活動資金の寄付

【+α】 未来よし

→ 子どもたち・地域社会の明るい未来の実現

当行は、次世代を担う子どもたちの健全な育成のため、地域社会と子どもたちとの「つながり」を応援します。

坂田
小学校
(長浜支店)



堅田高校
大津商業高校
(堅田駅前支店)



玉川
小学校
(瀬田駅前支店)



長浜北
小学校
(長浜北支店)



北野
小学校
(草津支店)



晴嵐
小学校
(石山支店)



志津
小学校
(草津支店)



安土
小学校
(安土支店)



草津
小学校
(草津支店)



上里
小学校
(本店営業部)

2019年7月末までに累計400億円の私募債を発行いただき、
計392の小学校等に、あわせて70百万円相当の寄贈品を贈呈

経営戦略におけるSDGsの位置付け

サステナビリティビジョン(長期ビジョン)

<不変の精神>

行 是：「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」
 CSR 憲章：「地域社会」「役職員」「地球環境」との共存共栄

<目指すべき地域社会の姿>

自分らしく未来を描き、誰もが幸せに暮らせる社会
 ~地域との共創による持続可能な社会の実現~

経済・環境・人をつなぐ(統合的発展)

2030年のマイルストーン (ターゲット 2030)

<地域経済の創造>
 Sustainable Development
 推進投融資
 新規投融資額 累計 1 兆円

<地球環境の持続性>
 温室効果ガス排出量
 30%以上削減
 (2013 年度比較)

<多様な人材の育成>
 SDGs・金融リテラシーの普及・
 向上活動、次世代人材の育成活動
 実施人数延べ 1 万人

3つの挑戦指標を通じて経済的価値と社会的価値を創造し、両立することで
 地域社会の発展に取り組んでまいります。

地域との協創



循環型社会の実現



SDGs をビジネスに



経営体質の強化



ゴール・ベース・サポート



デジタルテクノロジー (AI、IoT、ビッグデータなど) の活用

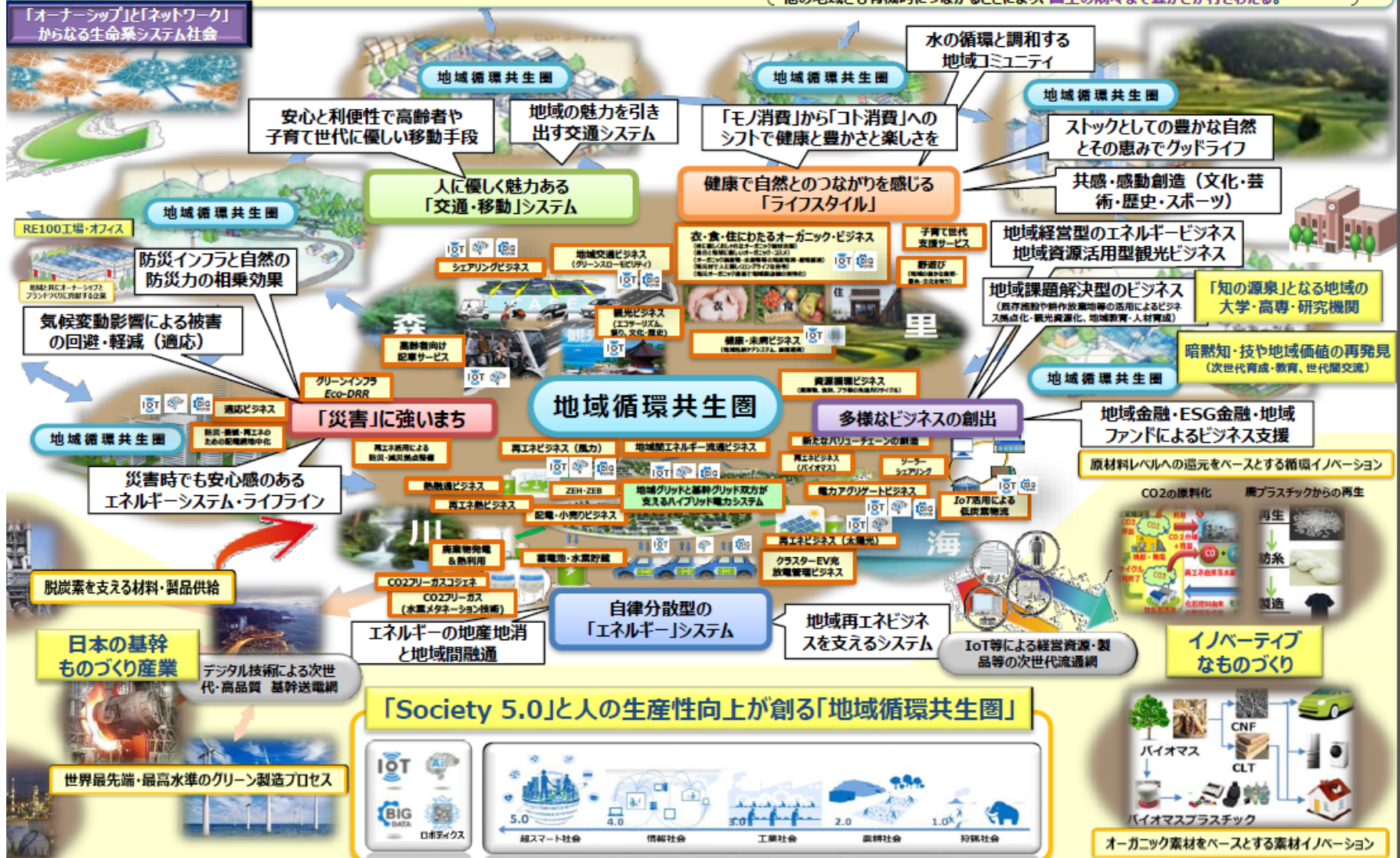
※ 地域との共創…共感して創る
 地域との協創…協力して創る

地域循環共生圏（環境省：脱炭素化SDGs構想）

「自立分散」 × 「相互連携」 × 「循環・共生」 = 活力あふれる「地域循環共生圏」 ⇒ 「脱炭素化・SDGsの実現、そして世界へ」
 「オーナーシップ」 「ネットワーク」 「サステナブル」 「人間の安全保障、次世代・女性のエンパワーメントを基盤に」

➡ **新たな価値とビジネスで成長を牽引する地域の存立基盤**

人々が健康で生き活きと暮らし幸せを実感することで、地域が自立し誇りを持ちながらも、他の地域とも有機的につながることで、国土の隅々まで豊かさが行きわたる。



「Society 5.0」と人の生産性向上が創る「地域循環共生圏」



ご静聴ありがとうございました